



まちづくり活動のお手伝いって、どんなことをしてるの？

地域の特性を踏まえ、地域課題の解決策を皆さんと一緒に考えています。課題を解決するために利用できる市の制度や事業を紹介したり、見守り活動などを協働で行ったりと、よりよいまちをつくるために、日々、区民と行政がアイデアを出し合っています。

北東白石地区の事例

北東白石地区は東部に厚別川、西部に月寒川が流れる場所に位置しており、水害への備えに関心が高い地域です。そこで、阿部まちセン所長が「地域安全委員会」に「防災マップ」の作成を提案。市の事業を活用して、北東白石地区全域の「防災マップ」を作りました。

● 地域と行政が協働で作成

地域安全委員会は、北東白石まちづくり協議会※の中の一つの委員会として、地域の安全や安心を守るため、さまざまな取り組みを行っています。

「防災マップ」は、同委員会の8人と所長でワーキンググループをつくって検討しました。

※地域課題について各種団体などが連携し、自ら解決していくことを目指したネットワーク組織



● 活発な意見交換により完成

「防災の中でも水害に焦点を当てよう」「避難所の標高を入れたらどうか」など、さまざまなアイデアが出されました。市で発行する洪水ハザードマップなども参考にして、万が一のときに備えられる「防災マップ」が完成しました。



昨年9月の豪雨を経験し、これまで以上に水害対策への意識が高くなりました。所長の提案で具体的な対策を検討できて、とても良かったです。今後も水害に備えるまちづくりを進めるため「防災マップ」の活用を検討していきます。



阿部まちセン 地域安全委員長

委員会ではこんな活動もしています

チャリパト隊・わんわんパト隊



自転車での買い物や犬の散歩のついでなど、より身近な見守り活動を進めています。

防災体験お泊まり会



子どもたちに災害時の心構えを養ってもらうため開催。平成26年度は63人が参加しました。

防災訓練



連合町内会と合同で、年に一度開催しています。平成26年度は油火災の消火も体験しました。

広告

